

# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	多発性骨髄腫	ERd
投与予定	休薬を含めて1クール 28 日 可能な限り	

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)			
							1	8	15	22
1	生食 デキサメタゾン ファモチジン	50ml 6.6mg 20mg	/		点滴静注	15分	↓	↓	↓	↓
2	生食	100ml	/		点滴静注	45分	↓	↓	↓	↓
3	生食  エロツズマブ  溶解用の蒸留水	※  10 mg/kg  100ml規格で	→  #REF! mg/body  →	#REF! ml  mg/body  実際の投与量 ml	点滴静注	医師の指示通り	↓	↓	↓	↓
4	生食	50ml	/		点滴静注	5分	↓	↓	↓	↓

3クール目以降はDay1・15のみ投与

Rp	薬品名	薬価最小组み合わせ	備考						
3	エロツズマブ	<table border="1"> <tr> <td>内訳</td> <td>300mg</td> <td>0mg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>400mg</td> <td>0mg</td> </tr> </table>	内訳	300mg	0mg		400mg	0mg	<p>300mg1vlは13ml 400mg1vlは17mlの注射用水で溶解し、25mg/mlの濃度とすること。                  ※患者の体重から計算した必要量をバイアルから抜き取り、通常、生食又は5%ブドウ糖液で以下のように希釈すること。  <b>体重 50kg未満 50kg~90kg 90kg超</b>  <b>希釈液量 150ml 250ml 350ml</b></p> <p>本剤は0.5ml/分の投与速度で点滴静注を開始し患者の忍容性が良好な場合は、患者の状態を観察しながら、投与速度を以下のように段階的に上げることができる。                  ただし、投与速度は5ml/分を超えないこと。                  1クール目 初回: 30ml/hで開始、30分後60ml/h、60分後120ml/h                  1クール目 2回目: 180ml/hで開始、30分後240ml/h                  1クール目 3及び4回目: 300ml/h                  2クール目以降 300ml/h</p>
内訳	300mg	0mg							
	400mg	0mg							

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
レナリドミド	25mg	分1 朝食後	day1~21
デキサメタゾン (レナデックス)	28mg	分1 朝食後	day1、8、15、22 3クール目以降は day1、15
(3クール目以降) デキサメタゾン (レナデックス)	40mg	分1 朝食後	day8、22
イブプロフェン	100mg	エロツズマブ 投与60分前	day1、8、15、22 3クール目以降は day1、15
d-クロルフェニラミン	2mg		

エロツズマブ投与時には0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。

3クール目以降は、day1、15に施行デキサメタゾン内服は28mgをエロツズマブ投与の3~24時間前に投与すること。

備考	
----	--